

1.2 羽田空港衝突事故を振り返る

4・11 緊急院内集会

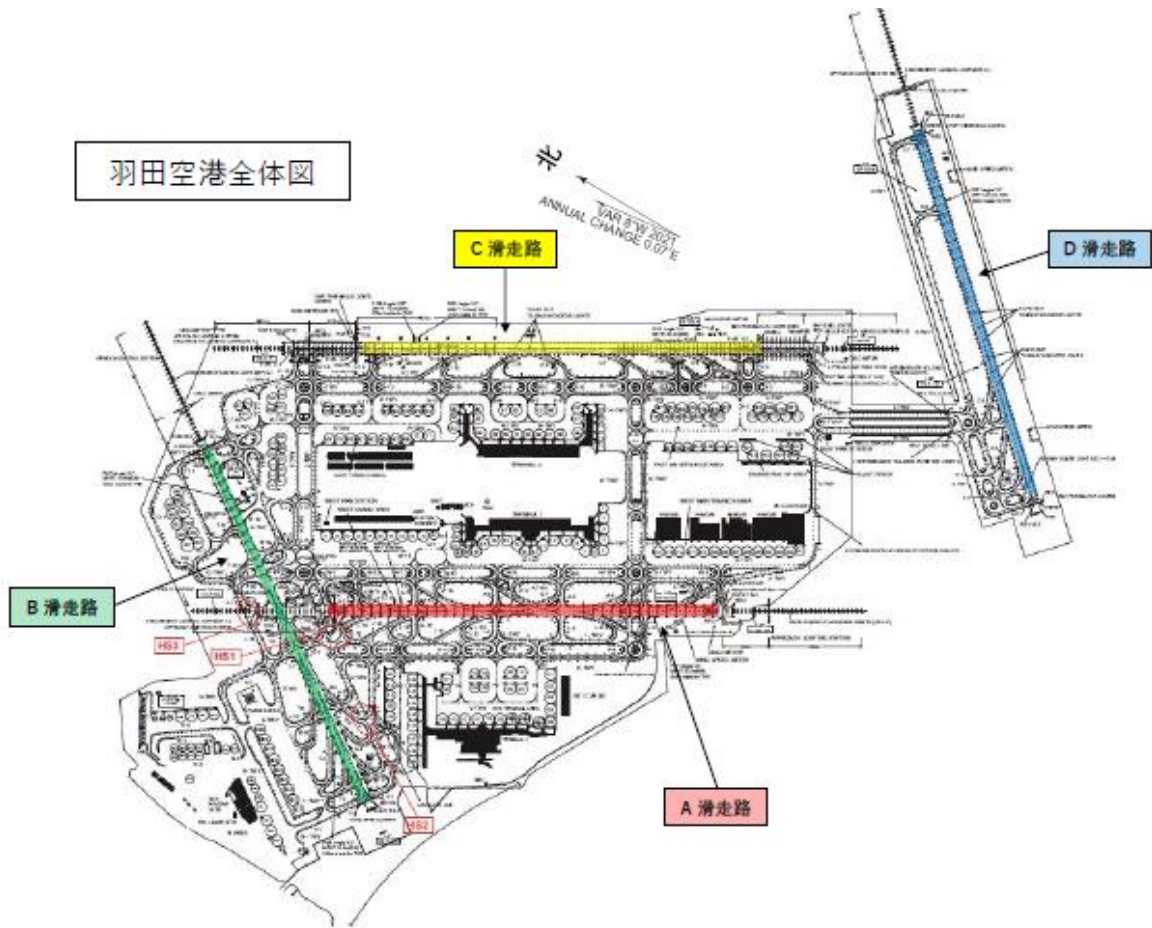
2024年（令和6年）4月11日
衆議院第1議員会館 1F 多目的ホール

運営：JAL 被解雇者労働組合（JHU）
主催：福田昭夫 衆議院議員

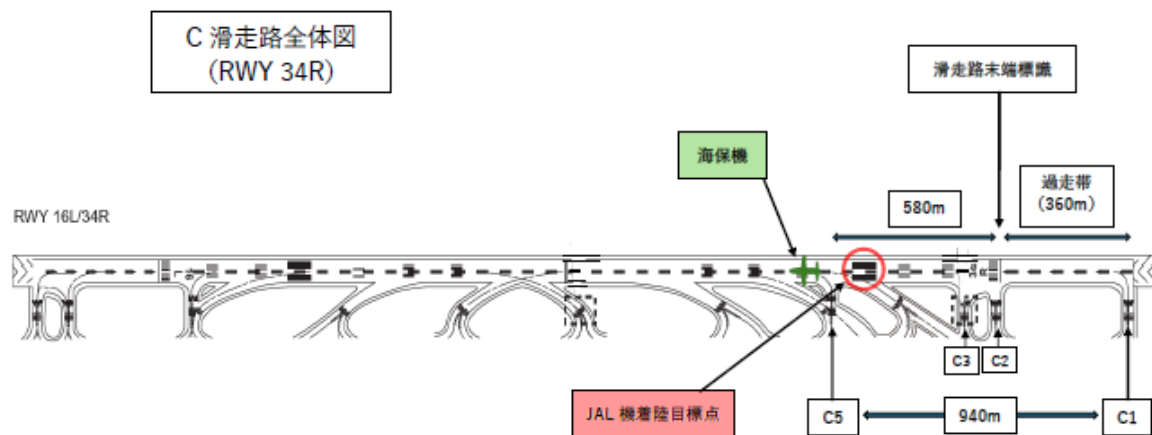
参考資料（目次）

1. 羽田空港概要図（全体）	・・・	2
2. 羽田空港 C 滑走路	・・・	2
3. 事故映像	・・・	3
4. 滑走路誤進入の実態	・・・	4
5. 管制取扱数と定員の推移、業務の実態	・・・	5
6. 操縦計器（Head-up Display）	・・・	8
7. 操縦計器の配置によるパイロットの視線と焦点	・・・	9
8. 操縦室のパイロット着席位置	・・・	10
9. JL516 便 客室乗務員の配置と経験年数	・・・	10
10. 脱出口と客室乗務員の編成数	・・・	11

資料 1



資料 2



資料 3-1



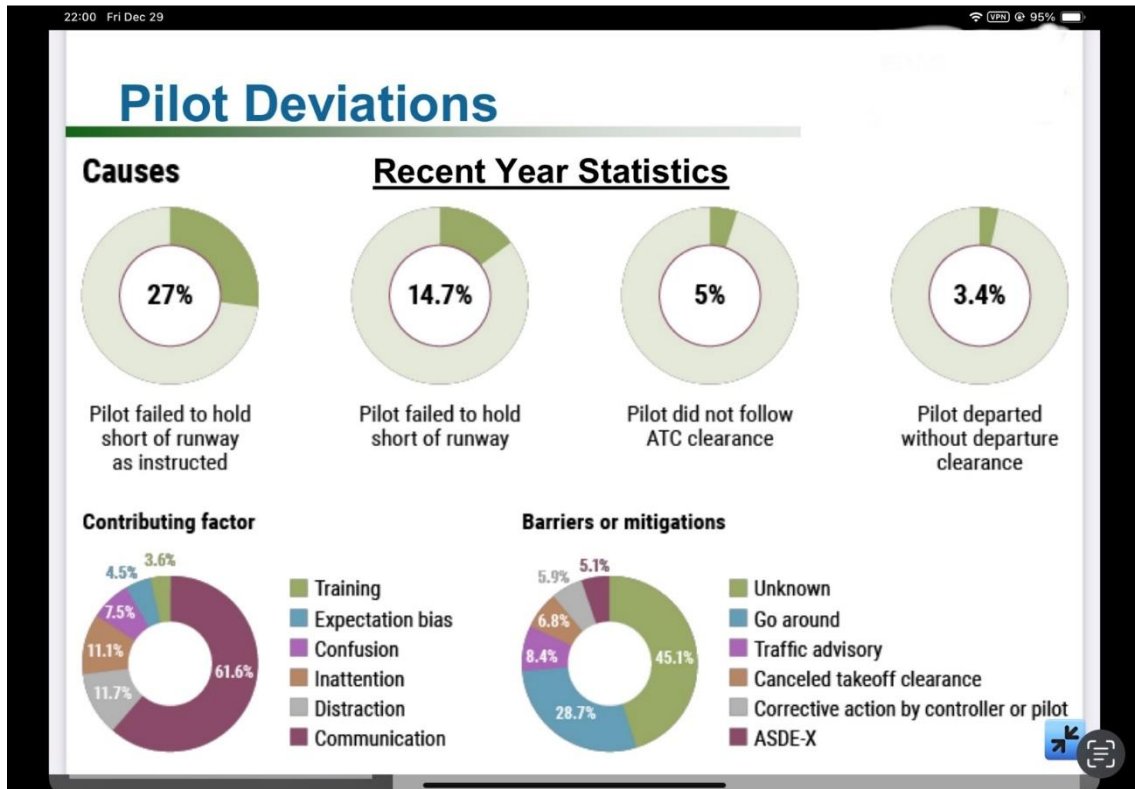
資料 3-2



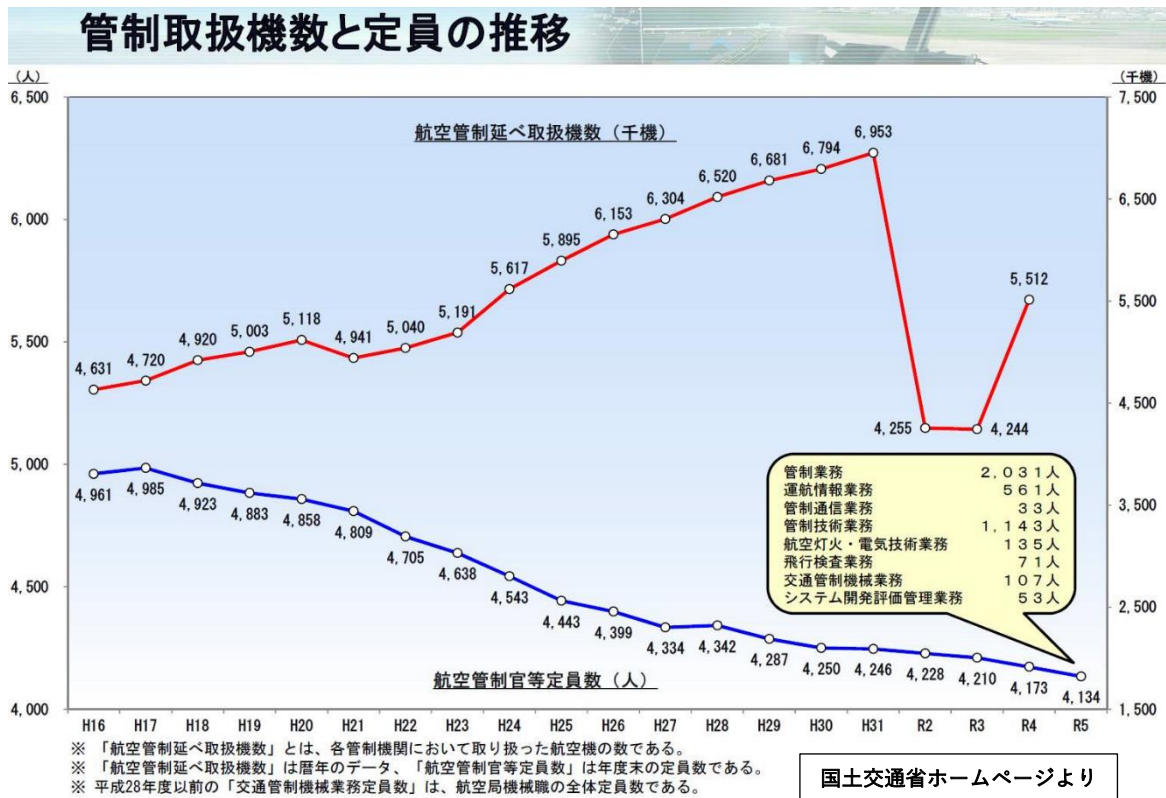
資料 4-1



資料 4-2



資料 5-1

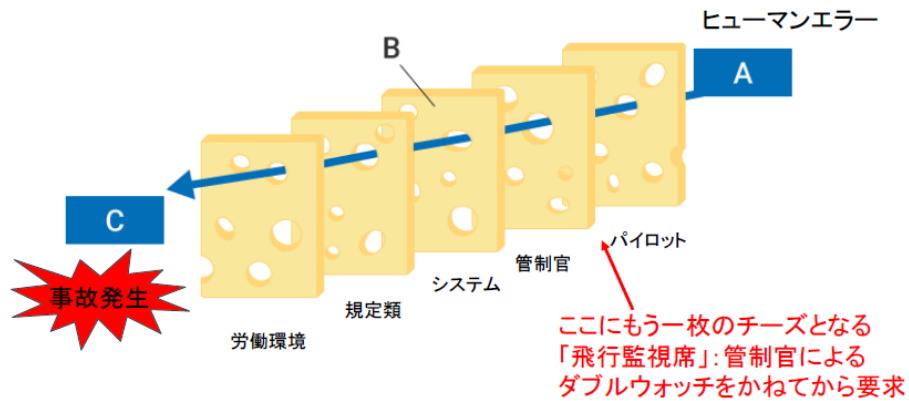


資料 5-2



資料 5-3

スイスチーズモデル



資料 5-4

2月1日 参議院本会議



水岡俊一 議員(立憲民主党)

そもそも、羽田空港の管制官の人員は足りているのか。便数が急増する一方で、国に定められた定員は減少しており、一人あたりの取り扱う機体の数は増えている。**管制官の人員を強化すべきではないか。**

アメリカなどでは、航空機事故の際、再発防止のため、**刑事責任は免除している。日本も、個人への刑事免責を視野に入れる必要性があるのではないか。**



これまで、羽田空港の増便に対応すべく、管制官の増員などの体制強化をはかってきており、**一人あたりの業務量が増加しているわけではない。**

個人への刑事責任の免除については、刑罰の意義目的や国民感情をふまえた慎重な検討が必要。

資料 5-5

2月13日 衆議院予算委員会



道下大樹 議員(立憲民主党)

仕事量から考えたら管制官の数が少ない。
管制官の人員を強化すべきではないか。

アメリカなどでは、航空機事故の際、再発防止のため、刑事責任は免除している。日本も、**個人への刑事免責を視野に入れる必要性がある**のではないか。

今後も業務負担を注視し、体制強化を適切に判断していく。

総定員法が足かせ、定員合理化計画はやめるべき。

国民の安全・安心のために、国も地方も必要となる**に公務員を増やすべき**。



斎藤鉄夫 国土交通大臣

4

資料 5-6

3月22日 参議院国土交通委員会



田村智子 議員(日本共産党)

警察が業務上過失捜査に入ること、事故原因追及に支障をきたすのではないか。

国際民間航空条約付属書13では、**事故調査の唯一の目的は再発防止**であり、罪や責任を課するのが目的ではない、としている。これは**航空事故の歴史の上に築かれた国際的な到達点**、我が国は矛盾している。

運輸安全委員会からは特に問題は生じてない、と聞いている。

最優先すべきは**個人の責任追及ではなく、再発防止**。航空行政を[あずかる大臣として](#)しっかり検討すべき。



斎藤鉄夫 国土交通大臣

5

資料 6



HUD Video at Day-time Landing



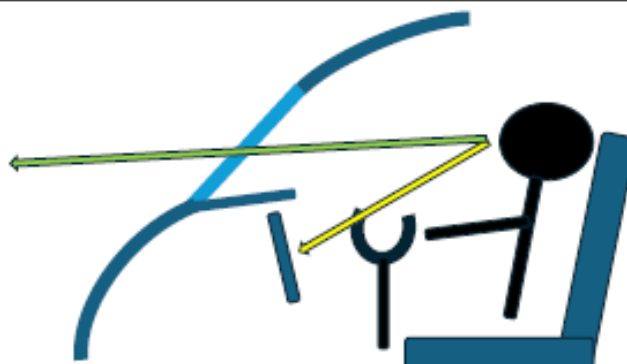
HUD Video at Night Landing



操縦計器の配置によるパイロット視線の変化と焦点移動

従来型

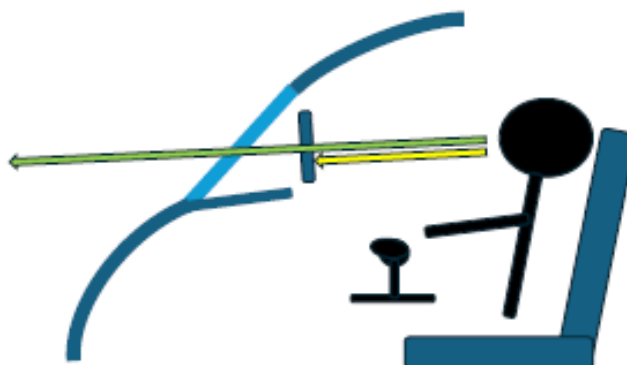
操縦時に視線を移動させる必要があり
パイロットのワークロード増



視線の移動に伴い、焦点も同時に移動
(近くの計器と遠方の滑走路の両方に焦点が合い、
滑走路上の障害物確認がし易い)

HUD 装備機

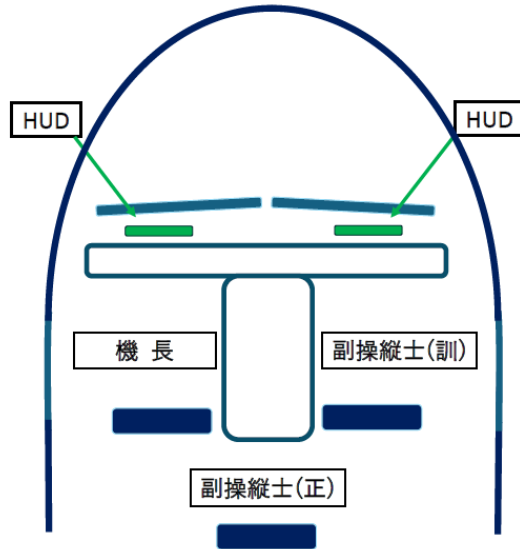
操縦時に視線を移動させる必要がなく
パイロットのワークロード軽減



視線が移動せず、焦点移動が難しい
(操縦計器に焦点を合わせると、遠方の滑走路に
焦点が合わず、滑走路上の障害物確認がし難い)

操縦室でのパイロット着席位置 (JAL 機)

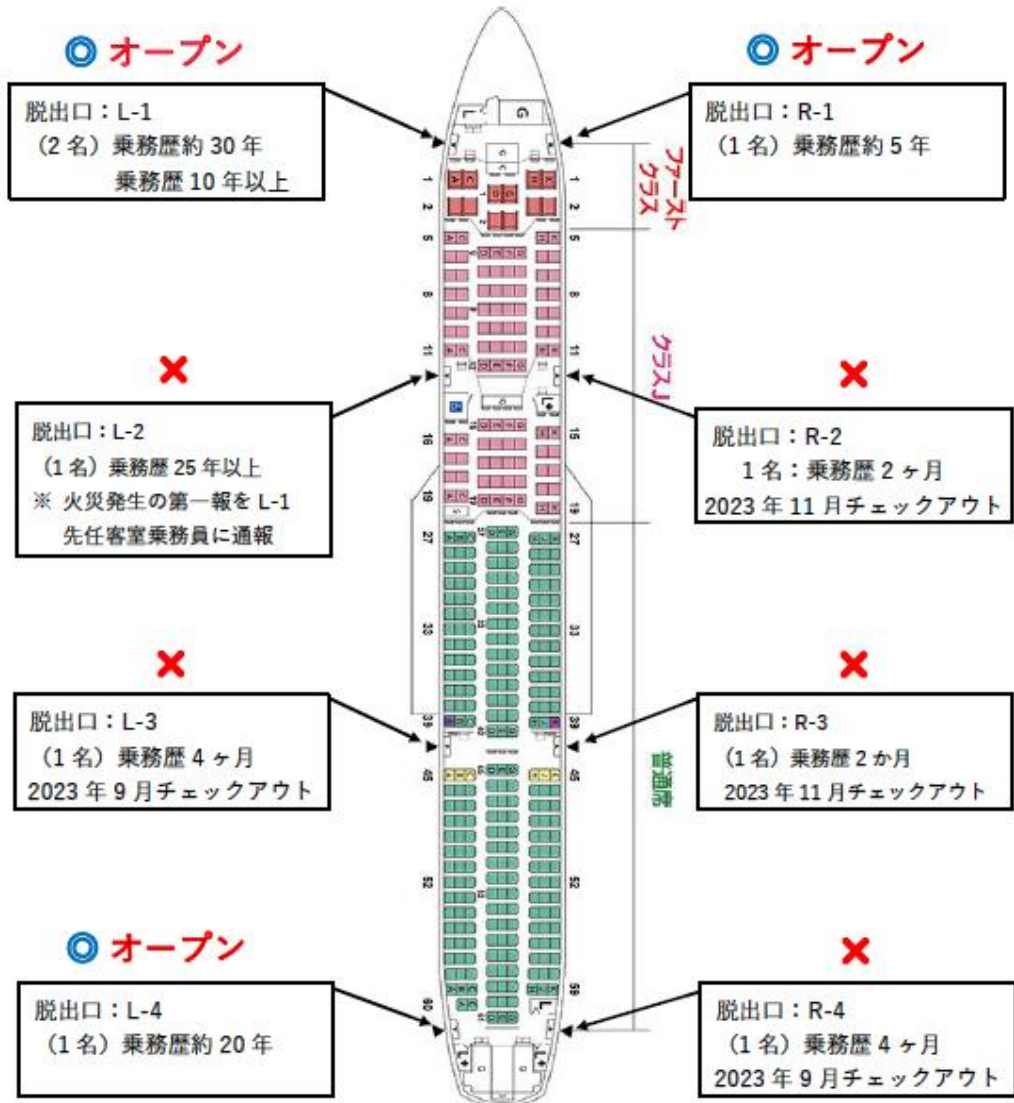
資料 8



資料 9

JL516 便 客室乗務員の配置と脱出口作動状況
および経験年数

機材：A350-900／必要配置数：8 名
(JL516 便には 9 名の客室乗務員が乗務)



資料 10

JAL OM 客室乗務員の編成

OM 第 5 章

5. 編成 (OM5-2-3 関連)

- ・ 定期旅客便における客室乗務員の編成は、OM5-2-3 に定める編成数を下回って予定してはならない。

機材	最小編成数	※脱出口数
777-200	8 名	8 カ所
777-300	10 名	10 カ所
787-8	6 名	8 カ所
787-9	7 名	8 カ所
767-300ER	6 名	6 カ所
737-800	3 名 客席数が 150 席を超える場合は 4 名	4 カ所
A350-900	8 名	8 カ所





参考データ

